

平成26年7月9日 前線に伴う出水で
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約5.2万m³を貯留

矢木沢ダム流域では、前線による降雨により、7月9日14時頃から23時までに総雨量約42mm（矢木沢ダム流域平均）を観測しました。

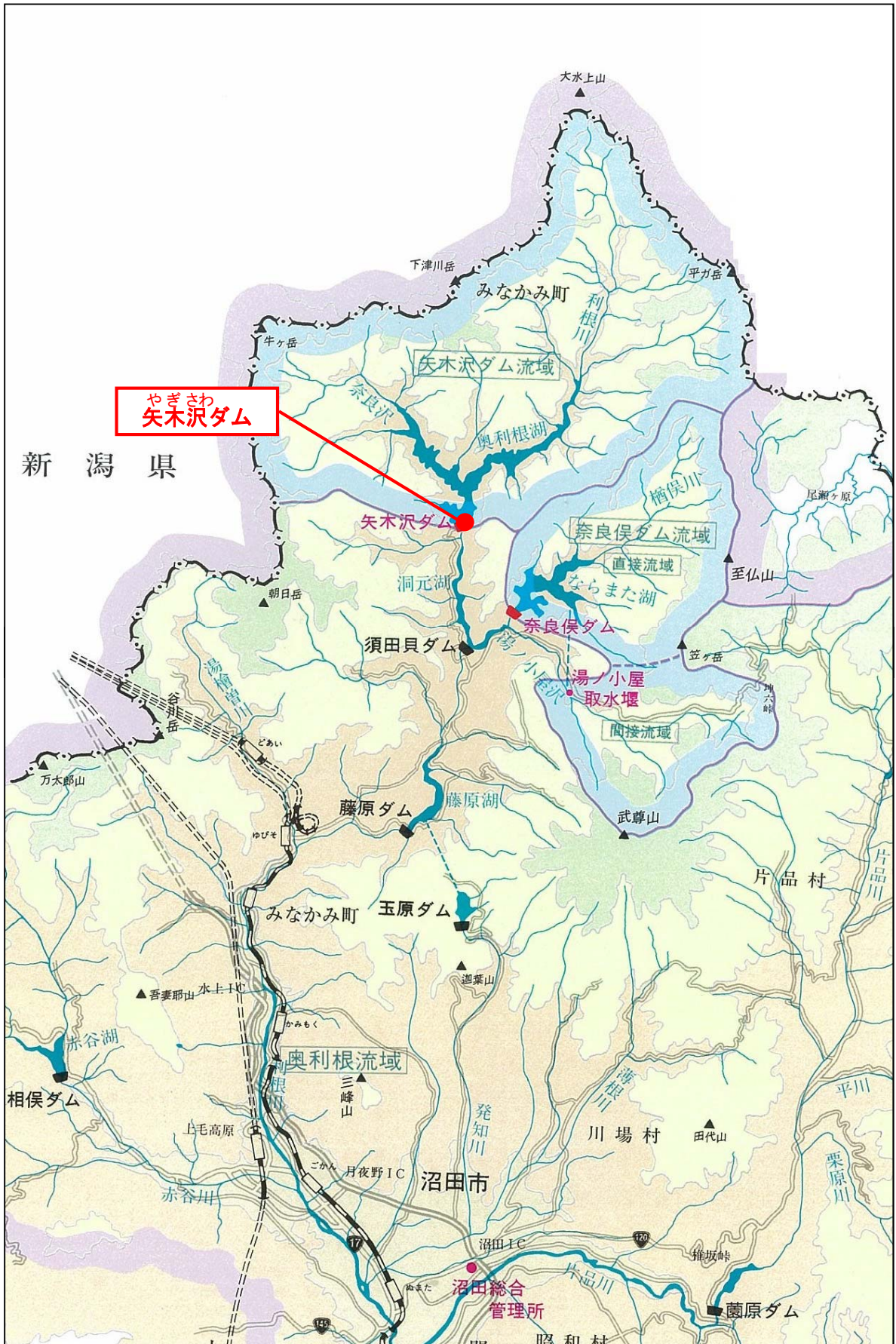
この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、9日17時00分に流入量（最大で毎秒約197立方メートル）が洪水量に達したため、防災操作を実施しダムに約5.2万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

ぼうさいそうさ
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

